

百草

ひやく にち そう

No.22

特定非営利活動法人たすけあい大田はせさんず
〒146-0082 東京都大田区池上4-28-3
TEL03-5747-2610 FAX03-5747-2620
e-mail・hasesanz@yg7.so-net.ne.jp
URL・http://hasesanz.com/



「馳せ参ずる」初心に返り、いざ発進

特定非営利活動法人たすけあい大田はせさんず
理事長 佐藤 悟

『百日草』は、1994年10月29日に創刊されました。「私の住むこの街で普通に生きる。人の助けが必要であっても誇りをもって生きる」という理念で、“老いを豊かに”のセミナーに参加した坂口郁子さんはじめ20数名の仲間が、自主グループ「大田区の高齢化社会を考える会」を結成したのが1992年。移動困難者の移送サービスを開始し、「NPO法人たすけあい大田はせさんず」として東京都より認証（1999年）。その後、訪問介護事業（ヘルパーステーション）を開始して、予防介護事業の元気かいも設立、居宅介護支援事業（ケアサポート）、通所介護事業（デイホーム）と拡大していきました。改めて、坂口さんはじめとするメンバーの長年のたゆまない努力と、活動を支えてきた活動者、利用者の皆さんに感謝を述べたいと思います。

ここで初心に返り会員制たすけあい活動を振り返りたい。日本人の特性として、道路に人が倒れていても声をかけられないと素通りしてしまう、人とはかかわりをもたないという一面をもっているといわれます。また、心で思っても自ら助けてと言えない人もいます。はせさんずとは「馳せ参ずる」の意。困った人がいたら、まず馳せ参ずるをモットーにしたネーミングです。このことを実践するために、変化に気づく目・大丈夫かなと気遣う心をもって日々の活動をしていきたいと思っています。もちろん他人だけでなく、自分自身の体と心の変化に気づき自分をケアすることが前提です。

特に会員制たすけあい活動では、利用する人も、活動する人も、等しく会費を払い、顔見知りの関係をつくっています。地域の中で会員同士がともに助け合い、ふれ合うことによって、利用者が安心でき、活動者も喜びを感じることでできるようなサービスを提供できます。単に家事援助や移送サービス活動を遂行するだけでなく、気持ちを大切に活動した活動を常にしていきたいと思っています。はせさんずは本当の家族にはなれませんが、「助けて」にすぐにこたえる身近な者として、いつまでもこの街で普通に生活できるための活動を、これからも展開していくと決意いたします。

6月26日付で、認定NPOの申請を東京都に提出しました。認定の通知書が都知事から一日も早く届くよう切望します。認定NPOになることで、寄付者には税額控除や相続税の課税除外などの優遇措置があり、この面でも還元できればと願っています。

新たな、はせさんずの発進を見守りください。

第15回通常総会開催

議案のすべてを承認

第15回通常総会が、5月26日(日)10時より、はせさんず事務所1階デイホームにて開催されました。



社員総数26名のうち出席者18名、委任状表決者7名、欠席者1名により総会は成立し、下記5議案が異議なく承認されました。

- 第1号議案 2012年度事業報告
- 第2号議案 2012年度決算報告
- 第3号議案 2013年度事業計画(案)
- 第4号議案 2013年度予算(案)
- 第5号議案 役員改選(案)

●2013(平成25)年度事業計画

[会員制活動事業]

前年度の活動が好調だったため、今年度は活動目標を月50時間増やしました。会員制活動は移送活動が突出していますが、今後介護保険の予防部分の変化も予測されることから、たすけあい活動のニーズの掘り起こしや活動内容の見直しを検討します。

認定NPOのスタートの年となり、100人以上の寄付者を集める必要があります。

元気かい活動は定着しており、継続して元気な高齢者の介護予防を図ります。

[介護保険訪問介護事業]

介護保険事業の中核として実績を伸ばし続けています。不足しがちだったサービス提供責任者の補充もかない、年間11,760時間の目標ですすみます。サービス提供責任者の研修、ヘルパー研修も手を抜かず、質の高いサービスを目標に実施します。各

種連絡会に参加し、必要な情報を取り入れ、外部連携も図ります。

[介護保険居宅介護支援事業]

常勤2名、非常勤2名のケアマネジャーにより、年間1,400件のケアプランを受けます。世田谷区の認定調査も継続し、年間100件を受けます。

外部連絡会への参加で得る情報が介護3事業に役立つよう、内部連携を図ります。

[介護保険通所介護事業]

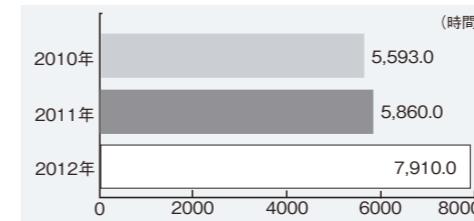
事業者の増加による競争激化もあり、利用者が伸び悩んでいます。今年度は利用者増のために、サービス内容の見直し、新規プログラムの導入、リーフレットの改訂、要介護度の高い人の受け入れのための介護技術を高める研修などを実施します。

[障害福祉サービス事業]

知的障害者サービスを中心に年間9,360時間を目標にします。職員の技術向上のため、関連の研修に参加させ、ヘルパーのサービスにも反映させます。大田区自立支援協議会への参加により、情報交換し、地域によりよい障害福祉に役立てます。

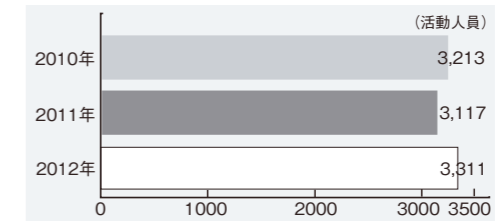
■2012(平成24)年度事業報告資料(3年間の部門別活動状況)

[会員制活動事業]



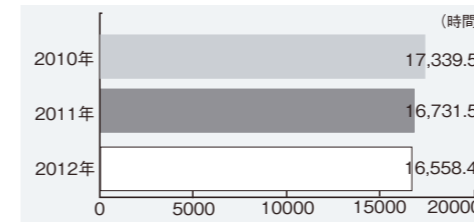
目標の6,000時間に対して131.8%の実績。福祉有償運送の需要が多く、活動時間、活動件数とも前年度より大きく増加した。新しい車椅子対応の福祉車両を導入。

[元気かい]



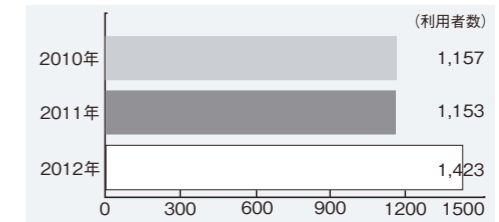
健康体操、俳句や絵手紙、健康マージャン、歌の集い、英会話、お花見や見学会、ピアノコンサートなど、年間を通して順調な活動を行った。

[介護保険訪問介護事業]



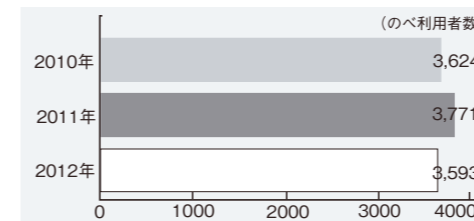
介護保険制度の改定により1件あたりのサービス時間が短くなり、活動件数は前年度より増えたものの、活動時間は前年度比99.0%の実績となった。

[介護保険居宅介護支援事業]



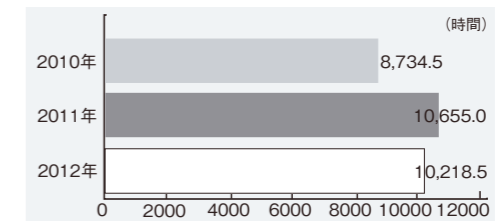
予防の委託を含む利用者数は、目標の1,440名をやや下回る98.8%の実績。しかし、常勤のケアマネジャーが1名増え、前年度比123.4%と増加した。

[介護保険通所介護事業]



目標の利用者数3,780人に対し95.1%の実績。前年度比も95.3%と減少した。介護保険制度の改定で時間区分が変更となり、その対応に苦心した。

[障害福祉サービス事業]



移動支援の利用者が増え、目標の9,000時間に対して113.5%の実績となった。前年度比は95.9%だが、常勤の訪問介護員を増やしサービスの質の向上をめざした。

[その他の事業]

市民後見 相談活動だけでは広がらないので、出前講座を積極的に実施し、市民後見制度を広報します。大田区の助成金を活用し、後見準備ノートを作成します。

講師派遣・体験実習 行政、学校、他団体などに講師を派遣し、たすけあい活動や介護福祉に貢献します。また、小、中学生や高校生の職場体験なども引き受け、次世

代の人材育成をサポートします。

●決算・予算について

2012(平成24)年度の会員制活動、訪問介護、居宅介護支援、通所介護等を合わせた法人全体の総収入額は1億4,763万円(前年度比100.5%)、総支出額は1億4,430万円(前年度比103.6%)。当期収支は333万円の黒字となりました。市民後見事業費は

はせさんず、ご寄付をありがとうございました

2012 (平成24) 年度寄付者

青木賢一	井野本直美	上田隆正	白田豊子	生形満徳	馬道カ子	漆原富紀子
漆原富裕子	扇屋 義	大澤恵美子	加藤哲夫	門野定雄	金子泰山	金子文一
川口貞子	小林恵子	棧敷洋子	篠原銃一郎	杉村幸正	高橋拓弥	高橋真穂
柘植輝生	布川靖子	野田壽子	広瀬厚子	藤木和彦	星 幸子	堀部昭子
牧野里咲	増渕友美	三村 勲	宮 輝彦	森 重光	吉田安男	吉田義輝
渡邊登志子	匿名1名	(株)どんたく				

以上37名（敬称略五十音順）と1団体、総額1,419,300円でした。皆様からのご芳志は、はせさんず運営費として有効に使わせていただきました。なお、東京都より市民後見事業助成金712,351円、大田区より有償運送補助金246,400円の交付を受けています。また、フリーマーケット売上金は438,991円でした。

前年度と同様に東京都補助金や寄付金を活用しました。訪問介護や障害福祉サービス事業は前年度なみの収支差益を確保しましたが、通所介護は介護保険制度改定の影響もあり収支差額が150万円のマイナスとなりました。

2013 (平成25) 年度の活動目標は以下のとおり。会員制、居宅介護支援および障害福祉サービスが前年度よりやや増えていますが、他活動は前年度とほぼ同じです。

会員制活動：活動時間7,800時間

訪問介護：活動時間16,800時間

居宅介護支援：ケアプラン1,620件

通所介護：利用者数3,696人

障害福祉サービス：活動時間9,360時間

これに基づき、前年度より約628万円多い1億4,468万円の予算となっています。

●役員改選について

理事候補9名、監事候補2名が全員承認され、理事の互選により、理事長に佐藤悟さんが選出されました。

設立時からの理事長・坂口郁子さんと、2001 (平成13) 年度より監事を務めた三村勲さんが退任となります。長きにわたり、ありがとうございました。

2013 (平成25) 年度月別活動予定

- 4月 『はせさんずニュース』 No.62発行
- 5月 第15回通常総会
- 6月 ヘルパー研修会、第1回市民後見人養成フォローアップ講座
- 7月 『百日草』 No.22発行、移送活動者安全研修会、新入職員防災避難訓練、後見準備ノート作成着手
- 8月 『はせさんずニュース』 No.63発行、活動者懇親会
- 9月 健康検診 (検便)、第2回市民後見人養成フォローアップ講座、職員研修
- 10月 『はせさんずニュース』 No.64発行、防災避難訓練、シンポジウム (講演会)
- 11月 フリーマーケット参加、第3回市民後見人養成フォローアップ講座
- 12月 年末懇親会、市民後見人基礎講座
- 1月 『はせさんずニュース』 No.65発行、市民後見人基礎講座
- 2月 移送活動者情報交換会、第4回市民後見人養成フォローアップ講座
- 3月 ヘルパー研修会 (9月または3月)

2013 (平成25) 年度役員

理事	佐藤 悟	棧敷洋子	牧野晴美
	矢嶋早苗	大澤恵美子	中谷三郎
	乙部裕美	佐藤京子	青木賢一
監事	小林恵子	根本信彦	

mini News

各部門
今年度は
ここが重点!

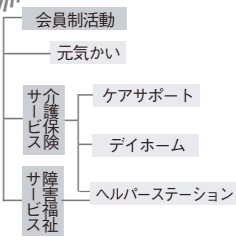
会員制活動

効率よりふれあい重視で

介護保険では効率的にサービスをすることも必要ですが、たすけあい活動では利用会員との会話を重視して日々の活動を実践していきたいと思えます。会話のなかに、活動の質を高めるヒントがたくさんあるように思えます。(矢嶋早苗)



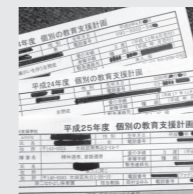
活動記録



ヘルパーステーション

学校・家庭と同じ方向を見て

特別支援学校では児童・生徒の「個別の教育支援計画」を作成しています。移動支援を行うはせさんずも、学校での年間目標や、保護者の将来への希望を共有できるのがベターです。「支援計画」を開示してくださるご家庭を増やし、同じ方向を見ながらサービスできるよう努力したいと思います。(棧敷洋子)



ケアサポート

足元から見直そう!

人員増から1年、地域包括支援センターと連携した住民対象の研修会や、他職種との交流活動など、積極的に行ってきました。今年度は、アセスメントや各利用者のサービス内容を見直して、「これぞ、はせさんずのケアマネ！」と言えるように、よりきめの細かい業務のあり方をさぐっていきます!(牧野晴美)



デイホーム

職員一丸となってサービス向上

介護保険改正の混乱も、ようやく収まりました。今年度はさらに利用者増をめざし、現状サービスの向上と広報活動の強化を図っていきます。具体的には、スタッフのチームワークの強化、介護職員によるアクティビティの充実や、相談員との協同によるケアマネジャーへの情報提供を進めます。(新留信弘)



元気かい

英語、太極拳、歌、麻雀、俳句で楽しく

2012年度の参加者は3,311名でした。2008年度以降は3,000名以上になり定着してきました。高齢者のパソコン教室から始めましたが、パソコンはゆきわたり、2010年度から英語を楽しむ会に切り替え、現在は太極拳・歌の集い・健康麻雀教室・俳句・昼食会を定期的に開催して楽しんでいます。(中谷三郎)



私たちのあゆみ

2012(平成24)年4月~2013(平成25)年3月

- 2012.4.6(金) 大田区通所介護事業者連絡会 以後全18回 新留
- 9(月) 『はせさんずニュース』No.58発行 以後9.14No.59、11.20No.60、1.30No.61発行
- 13(金) 池上地区まちおこしの会(環境部会) ゴーヤ苗配布・池上祭・スポーツGOMI拾い大会等 全15回 佐藤
- 19(木) 大田区NPO活動団体交流会・議員懇談会等 以後全14回 矢嶋
- 東京都社会福祉協議会在宅福祉部会 以後全6回 矢嶋
- 安全運転管理者等講習会 大澤
- 20(金) 大田区訪問介護事業者連絡会・研修会 以後全14回 棧敷
- 24(火) 職員全体研修「介護職員の接遇マナー」以後全7回
コミュニケーションからストレス対策まで学びました。
- 5.8(火) 大田区自立支援協議会 以後全10回 棧敷
- 12(土)・13(日) 東日本大震災被災地支援(さわやか福祉財団主催)石巻市雄勝町にてお茶っこ会開催 以後全9回 佐藤
- 27(日) 第14回通常総会 はせさんず事務所デイホームにて
- 6.10(日) おおた子育てわいわいフェスタ エセナおおた等にて 矢嶋・佐藤
- 市民後見人養成講座実務研修(フォローアップ)講座 矢嶋・佐藤
生活保護・知的障害者と制度、消費者保護等、全4回開催。
- 15(金) NPO法人大田区介護支援専門員連絡会設立総会・定例会 以後全13回 牧野
- 25(土) ヘルパー研修会「口腔ケア」池上会館にて 参加者27名
- 7.11(水) 『百日草』No.21発行
- 18(水) 原発事故被災地南相馬の移送支援・大田区の福島県避難者調査 以後全7回 矢嶋・佐藤
- 7.27(金) ヘルパー研修会「もっとオムツを知ろう」池上会館にて 参加者27名
身体介護のクオリティに直結、排泄とオムツを科学的に学ぶ。
- 8.10(金) 市民福祉団体全国協議会政策委員会 以後全5回 佐藤
- 22(水) 第20回移送活動者安全運転研修会 参加者17名
移送活動についてフリートーク。
- 28(火) 大田区福祉有償運送運営協議会 坂口・吉田



職員全体研修



お茶っこ会



市民後見人養成講座実務研修



ヘルパー研修会



移送活動者安全運転研修会

■ご冥福をお祈り申し上げます

- | | | |
|-------------------|--------------------|-------------------|
| 2012(平成24)年 | 9月29日 甲斐登美子さん 88歳 | 2013(平成25)年 |
| 6月19日 小倉 隆志さん 83歳 | 10月8日 門間 満枝さん 82歳 | 1月1日 菊田 俊介さん 65歳 |
| 7月4日 難波美恵子さん 82歳 | 10月12日 加藤 哲夫さん 89歳 | 1月14日 藤田 竹さん 91歳 |
| 7月24日 田中 文子さん 79歳 | 10月23日 宮崎八重子さん 82歳 | 1月24日 市川 雅一さん 77歳 |
| 8月11日 石塚みどりさん 73歳 | 10月24日 仲野かつ子さん 88歳 | 1月2日 小川 郁夫さん 80歳 |
| 8月29日 岩田 頼明さん 69歳 | 11月24日 堤 陽一さん 81歳 | 2月9日 小田切善臣さん 94歳 |
| 9月8日 竹田ひさ子さん 91歳 | 12月22日 伊澤 ミチさん 91歳 | 2月14日 遠藤 貞子さん 91歳 |
| 9月16日 長田 栄一さん 85歳 | 12月23日 田中四良次さん 91歳 | 2月16日 渡辺 全子さん 92歳 |
| 9月25日 植田 賢一さん 99歳 | | 3月7日 高橋 貞吉さん 94歳 |
| 9月28日 山本 敏江さん 97歳 | | 3月13日 石井 泰さん 72歳 |

9.5(水)~10.10(水) 大田区職員研修受け入れ 1~2名/日 全13名

10.20(土) 第16回はせさんず講演会 LUZ(ラス)大森にて 参加者140名

堀田力さん、鈴木央さん、竹本是さんと坂口理事長がパネルディスカッション、会場は満員の盛況でした。



はせさんず講演会

11.3(土)・4(日) OTAふれあいフェスタ、フリーマーケットに出店 大田区平和の森公園にて 参加者のべ45名



フリーマーケット

12(月)~27(火) 大田区社会福祉協議会ホームヘルパー2級研修実習受け入れ のべ15名

13(火) 防災・避難訓練(田園調布消防署久が原出張所指導) 参加者36名

28(水) 元気かいデュオコンサート 大田区民プラザにて 参加者71名

29(木) 平成25年度大田区地域力応援基金助成事業に内定

12.1(土) 2013年版パラアートカレンダー制作・販売 113部

今年もA4サイズとはがきサイズの2種を制作しました。



パラアートカレンダー

2013.1.22(火) 平成24年度東京都地域支え合い体制づくり事業補助金決定

2.10(金) 第3回市民後見人基礎講座 以後全6回 修了生20名

グループ演習では、議論白熱。



第3回市民後見人基礎講座

3.3(日) 移送活動のつどい・2013 佐藤

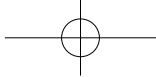
9(土)・10(日) 東日本大震災物故者慰霊法要・石巻市雄勝町 棧敷

12(火) 福祉2号車、車椅子対応車に変更・登録

はせさんず所有の車椅子対応車が計2台となりました。



新福祉車両



感謝と期待とともに

特定非営利活動法人たすけあい大田はせさんず
前理事長 坂口郁子



高齢になったとき安心して頼れるたすけあいの会をつくりたいと、20年前に「はせさんず」の前身をイメージしていました。理事長を退任するにあたり、長くもあり短くもあった活動、努力、そして創造の日々を振り返っております。

大勢の人たちと出会い、多くのことを学び、可能なかぎり、たすけあいを行い広めていくことに夢中でした。力の及ばないことも多々ありましたが、運よく、定めた方向を誤らずにこられたのではないかと感じております。

同志といえる方たちとの出会いは、「はせさんず」内にとどまらず、広く、それぞれの地域で独自の活動をする団体、国内のネットワークを束ねる団体など、多くの方たちの大いなる力をいただいたことを、今ここで心より感謝いたします。

急速な高齢化はこれからが正念場といえます。「はせさんず」は、理事長を始め新しいたしました。NPOとして「はせさんず」がますます充実し、地域の方たちに頼られる会になっていくことを、私も会員の一人としてずっと見守り、私の老後をゆだねたいと思っています。永い間ありがとうございました。

送るこ と ば

あざやか



公益財団法人さわやか福祉財団
理事長 堀田 力

決断が早く、しんのぶれない、頼もしいリーダー。でも、笑顔がかわいい。

曲がったことが大嫌いで、行政であろうと政治家であろうと、おかしいと思えば敢然と立ち向かう。でも、困っている人は理屈抜きに救いたい。

心が美しく、紫の似合う坂口さんの、身の引き方のあざやかさ。そして、残した功績の大きさ。

忘れません。

坂口さん、ご苦労様。



認定特定非営利活動法人
市民福祉団体全国協議会 専務理事 田中尚輝

坂口さんには市民福祉団体全国協議会発足以来、お世話になりました。ことに常務理事に就任いただいてからは指導部としてひっばっていただきました。坂口さんは先見性と安定感がある珍しいタイプのリーダーでした。

「はせさんず」の発足、デイのスタート、市民後見人の活動など先進的な活動に取り組みましたが、坂口さんがいると安心してみていられました。今後ともお元気で、私たちが応援してください。

編集後記

坂口さんの退任で事務所は創立からのメンバーが1名になった。何と言っても坂口さんの力は圧倒的だったので、今後変革するもの、変わらずに持ち続けたいもの、すべてにおいて、新体制の職員の力の結集がかぎとなる。地域最大のたすけあいNPOの灯はますます輝かせなくてはならない。礎を築いてくれた坂口さんに感謝。(矢嶋早苗)